

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 月 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 21 日 作成

事務事業名		竹迫初市振興会活動支援事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気であふれるまちづくり			所属部	産業振興部	課長名	米澤 俊一
	施策	22	歴史・伝統・文化を活かした郷土愛の醸成			所属課	商工振興課	担当者名	渡辺 良輔
	基本事業	78	伝統文化の継承			所属班	商工・企業誘致班	(内線)	1253
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果		
	1	7	1	2	10926		コスト削減優先度評価結果		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度)					
						<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	地域の観光資源である竹迫初市振興会(商工会、市、教育委員会、JA、シルバー人材センター、まちなっと”セラヴィ”、関係地区の区長で組織)を助成し、地域振興を図る。 明治4年、竹迫雄志により初市の再興のため、竹迫初市振興会が発足されたことを期に取組みが始まった。 補助金額は年々減少している。 消費社会の変化と熊本県農業公園での植木市の開催により来場者数は減少してきた。 近年は3月3、4日に竹迫のJA前で開催していたが、H21年からヴィーブルで開催されている「こどもフェスティバル」と併せて実施、平成22年は2月28日(日)に合志市役所合志庁舎前駐車場で開催し多くの人が訪れた。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	申請受付、交付決定、支払、実績報告 年3回の調整会議への出席及び市広報、市HP、チラシ、横断幕によるPR活動
【主な予算費目】	補助金
【意見や要望】	付近住民と利害関係者から開催日、開催場所についての意見が寄せられている。 商工会の理事より、何故、商工会がこの事業を行わなければならないのか。地元がもっと盛り上げて行なうべきであると意見があっている。 振興会の中で、考え方として商工振興ではなく、初市の歴史を後世に伝えていくことが重要であるという事を確認し、開催日と場所を合志庁舎前に変更した。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動) (DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
地域の観光資源である竹迫初市振興会に対し、地域振興を目的に補助をした。 年3回の調整会議に出席した。 市広報、市HPへの掲載、各区へのチラシ配布、横断幕を設置し初市PR活動を行なった。	21年度実績を基に22年度も引き続き同様の活動を展開していく。
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	⑤申請受付、交付決定、支払、実績報告処理時間 (単位)
→ ア 来場者数 人	→ イ H
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
竹迫初市振興会	→ ア 竹迫初市振興会団体数 団体
	→ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
古き伝統のある初市を後世に継がせると共に地域振興を図る。	→ ア 事業を成功したと感じた初市振興会団体数 団体
	→ イ
*⑦成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 来場者数が増加し初市が賑わう事で成功したと実感でき、振興会の活性化に繋がることになる。22年度は更に周知徹底を図り来場者数の増やす。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込
④ 活動指標	ア 人		1300	1500	1500	1600	1600	1600	1600
	イ H		65						
⑤ 対象指標	ア 団体		12	12	12	12	12	12	12
	イ								
⑥ 成果指標	ア 団体		12	12	12	12	12	12	12
	イ								
事業費	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	90	81	81	81	81	81	81
	(A) 事業費計	千円	90	81	81	81	81	81	81
人件費	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
	正規職員従事人数	人	3	3	3	1	1	1	1
延べ業務時間	時間	65	62	62	20	20	20	20	
(B)人件費計	千円	258	248	247	80	80	80	80	
トータルコスト(A)+(B)	千円	348	329	328	161	161	161	161	

総トータルコスト	
全体計画	
～ 年度	
(期間限定複数年度のみ記載)	
	0
	0
	0

合志市

事務事業名	竹迫初市振興会活動支援事業	所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
-------	---------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成21年より開催日、開催場所を変えたことで来場者数の増に繋がった。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善)
 事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善)
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

初市の規模としては、現状のままでよいと思われるが、周知徹底を図り、いかに来場者を増加させるか、また、この初市の歴史を子ども達に伝えていく必要がある。